

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和5年3月3日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

2日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | |
|-------|-------------------------|---------|--------------|
| 団体名 | 阿武町 | 代表者名 | 町長 花田憲彦 |
| 担当者部署 | まちづくり推進課 | 連絡先電話番号 | 08388-2-3111 |
| 担当者役職 | 課長 | 担当者氏名 | 藤村憲司 |
| 住所 | 759-3622 山口県阿武町大字奈古2636 | | |

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|------------------------------|--|
| アドバイザー | 細川 哲星 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に) | 事前に綿密な打ち合わせのうえ、二日間にかけて阿武町職員に寄り添ったヒアリング、課題の洗い出しを実施された。業務の簡素化等を目指すため、各課横断的な意見のすり合わせ、職員及び住民ファーストの職員間の共通認識に繋がった。ヒアリングや特別職・課長との意見交換会により、課題の再認識が図れた。 |
| アドバイザーへの要望事項 | |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | | | | | |
|-------------|----------------|-------------------|--------------|----------|-----------|
| 3-1. 対応日・時間 | 派遣日予定日 (申請書より) | 支援内容 (申請書より) | 期日・支援内容の変更あり | | |
| | 令和5年2月7日 | 支援・助言(実地) | 無 | | |
| | 実施した派遣日 | 実施した支援内容 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間 (分) |
| | | | 9時00分 | 15時45分 | 60 |
| | | | | 活動時間 (分) | 1015545 |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名 | 阿武町役場 | 最寄駅 | 奈古駅 | |
| | 所在地 | 山口県阿武郡阿武町大字奈古2636 | 最寄駅からの交通手段 | 徒歩3分 | |

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|--|---|------|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】 | 人数 |
| | 職員 | 33 人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | |
| 事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい) | 「阿武町DX推進計画」を策定し、デジタル化推進に向けた取り組みを進めたいが、職員のデジタル化への意識に格差があり、業務の課題解決に向けたDX化等にも限界があるため、外部人材を活用し、デジタル化への職員の共通認識・機運の醸成等を図る。 また、日々のルーティン業務からのICT化・DX化への取組課題の洗い出しを行い職員間での再認識、小規模自治体ならではの業務の課題解決を図る。 | |
| 支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい) | デジタル化推進のための機運の醸成、職員の知識習得。 | |
| アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい) | 2/7 (火) (2日目) 各課とのヒアリング (現状、課題等をヒアリング)、特別職 (町長・副町長)・課長との2日間の振り返り及び意見交換会。 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容 | 事前に各課ヒアリングを行う旨を周知し、職員間で日々のルーティン業務からのICT化・DX化への取組課題の洗い出しを行い、各課職員間での再認識を行った。ヒアリング結果を基に、町長・副町長 | |

| | | |
|---|--|-----------------|
| (具体的にご記入下さい) | の取組課題の洗い出しを行い、各課職員間での共通認識を行った。ヒアリング結果を基に、町長と各課別職・課長との意見交換会を行い、最終的には全職員を対象とした研修会を実施に向け、阿武町のデジタル化への推進目的の共有認識が図れた。また、一番の課題として、セキュリティポリシーの脆弱化について指摘を受け、次年度には改定等の対応を行うことを再確認した。 | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑤組織業務改善ができた |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | ヒアリングを基に職員間で課題等の共通認識が持て、デジタル化推進・次年度計画策定への取り組みへの機運の醸成となった。また、セキュリティポリシーの脆弱化を指摘され、次年度の対策が必要であることが判明した。 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート実施中。 | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるもののリストより選択下さい | ②次年度に予算化を図り推進する |
| 事業の最終的な目指す姿 | 次年度に「阿武町DX推進計画」を策定、デジタル化推進元年とし、計画的にデジタル化推進を行う。 | |

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



